

One to One



これがNPOの本音。

～シンポジウム「事例から検証！NPOが担う指定管理者」～

指定管理者制度が始まって、4年目。宮城県内では、22のNPO法人が指定管理者となり公共施設の管理・運営をしています。みやぎNPOプラザは、その現状を把握し、課題を知るためにこの夏、アンケートによる実態調査を実施しました。

その結果を発表することと併せ、10月18日にシンポジウムを開催し、事例発表やパネルディスカッションが行われました。



事例発表とシンポジウムのパネラーは、次の5人です。

多賀城市の体育施設等を運営しているNPO法人多賀城市民スポーツクラブ事務局長の阿部福次さん、大崎市感覚ミュージアムを運営しているNPO法人オープンハート・あったか理事の上原茂樹さん、仙台市市民活動サポートセンターを運営しているNPO法人せんだい・みやぎNPOセンターの理事の黒澤学さん、東四郎丸児童館を運営しているNPO法人FOR YOUにこの家理事長の小岩孝子さん、心身障害児通園施設の石巻市かもめ学園を運営しているNPO法人石巻市やわらぎの会理事長の澁谷郁子さん。

コーディネーターは、東北大学大学院経済研究科教授の大滝精一さんです。大滝さんは、せんだい・みやぎNPOセンター代表理事をしているほか、みやぎNPOプラザの運営評議会会長をしています。

まずは現状報告。

各団体から指定管理事業の概要と施設で展開されているサービス内容が報告され、それぞれの問題点も話されました。その結果、最大の課題は指定管理費と人件費の問題でした。「人件費が低額のためスタッフの雇用・育成がままならない。」「ギリギリの指定管理費なのに更に削減されている。」など。

報告によると施設職員に採用されたスタッフの初任給は、平均16万円。中には、「行政側が給与を月給15万800円と設定。昇給しても最高5%まで。生活ができるように是正する必要がある。」や、「人件費は指定管理料に含まれず、ほとんど施設利用料収入で賄うことになっている。利用人数の変化に伴い不安定。」「有資格者でも低賃金になってしまう。人件費の算定基準が低すぎる。」など問題点が続出。

また、行政との関係も指摘され、「多少なりとも行政と上下関係があると感じる。」「指定管理料は1年ごとに決定するので、今後どうなるかは市との話し合い次第。」「何が成果をはかる目安なのか未だに分からない。」など、なかなか対等な関係を築く難しさが見えました。

協働の実現へ。

そうはいつてもNPOもいろいろと努力をしていることが伺えます。「行政との報告は月1回と、報告以外に週1回ほどやり取りをしている。」「市の事情は分かるが、“引けないところは引かない”“協力できるところは協力し合う”という信頼関係を作り上げていきたい。」「指定管理者の権限の範囲を明確にするために、市とは10日に1回、ミーティングをしている。」「行政と相談しながらやってきた部分が大きく、利用者増に対して交渉の末、非常勤1人分のお金がもらえた。」など、行政の特徴を知ったり、交渉力をつけたりと、学んでいます。

また、「スタッフがボランティア精神を持って仕事に取り組んでいることで助けられている。」と内部の努力を披露したNPOもありました。

これから。

多くのNPOの心配として「次期の指定管理が受けられるかわからない。スタッフの雇用が心配。」「人件費はベースアップ等で増加するので大変。」「きちんと子ども2人を育てられる給料水準にしていくことが課題。」「退職金がなく男性の雇用が難しい。」と多くが期限付きの指定管理者制度の課題も指摘しています。

最後にコーディネーターの大滝さんは、「指定管理者であるNPOにも変えていくべきことが多くある。行政とのやり取りも大事であり、指定管理者制度自体も必要ならば節目で変えていくということも大事。しかし、指定管理者制度はNPOの大きなチャンスにもなっているのも事実。事業評価などやるべきことは山のようにあるが、今日はその第一歩。これから指定管理の2～3期目という施設が出てきたときに、この制度の良し悪しが問われる。次が正念場。指定管理者側だけが発言するのではなく、市民の側、行政の人達の側とのやり取りをしていけたら良いと思う。」と締めくくりました。



『協働のまちづくりフォーラム』

登米市

11月17日、登米市主催による、『登米市協働のまちづくりフォーラム』が開催されました。登米市は今年を協働のまちづくりの元年と位置づけ、7月の職員研修、9月の市民向け講演会に続く3部作の完結編として、「協働でひらく、これからの地域づくり」をテーマに、協働のまちづくりについて市民と一緒に考えました。

フォーラムでは高崎経済大学地域政策学部の櫻井常矢准教授による基調講演や、布施孝尚市長と櫻井准教授の対談コーナー、バンド演奏によるアトラクション、市内外の地域づくりやNPOの実践者の事例発表など、参加者を飽きさせることのない盛りだくさんの内容でした。

また、新たな試みとして、市内の子育てボランティア団

体による託児スペースの設置や、地域の青年組織マイドリームによる協働キャラクターの人気投票が行なわれ、若い世代の参加者も見られました。

登米市では来年も工夫してフォーラムを開催したいとしていて、これからも市民協働の意識啓発や地域づくりへの参加の推進などを呼びかけていくこととしています。



布施市長と櫻井准教授の対談の様子

大崎市

11月18日(日)、JR古川駅前にある大崎市市民活動サポートセンターで、第2回『おおさき市民活動のつどい』が開催されました。

地域住民が主体となって活動する地域自治組織から「まやま地域づくり委員会」と「三本木まちづくり協議会」、また温泉湯治場を生かしたまちづくりに取り組む「NPO法人東鳴子ゆめ会議」、そして大崎市市民活動サポートセンターを運営する「宮城マネジメント協会」、とそれぞれ特色ある活動を紹介しました。

続いて、「みんなでつくるまちづくりー生き活き・快適な地域社会の創造を目指してー」をテーマに、団体紹介をした4人のほか、大崎市市民協働推進部部長の高橋幹夫さんとNPO法人宮城マネジメント協会会長の高澤務さんをアドバイザーとしたパネルディスカッションへ。紹介された活

『おおさき市民活動のつどい』

動の財源や組織構成、参加者集めについてなど、深く掘り下げる話しが繰り広げられ、それに対して高橋さんと高澤さんからのアドバイスがありました。

終了後はちょうどお昼時となり、1階の交流フロアに会場を移して、軽食を食べながらの交流会となりました。

この日はあいにく肌寒い日となりましたが、会場は延べ100名を超える来場者でにぎわいました。



交流会の様子

石巻市

石巻駅前のさくら野百貨店石巻店、5階フロアにおいて、11月17日～12月16日の間『いしのまき市民ひろば』が開催されました。

主催は「NPO法人いしのまきNPOセンター」を中心に、石巻地域で活動する市民団体が組織された実行委員会。宮城県（みやぎNPOプラザ）も平成19年度地域連携交流事業の一環として共催に入り、参加しました。

フロアには、参加団体の作品展示や活動内容の紹介のパネル展示を常設。そのほか、週末にはステージでフラダンスやオカリナ、ゴスペルなどの活動発表や、フットケアやアロマセラピー、健康体操などの体験コーナー、住宅改善の相談なども設けられています。

参加団体にとっては、石巻の中心地で多くの市民に情報発信できるまたとない機会となり、また市民にとっては石巻の市民活動を「見て」「触れる」絶好の機会となりました。誰でも気軽に参加できて、市民とNPOの交流できる場所。

『いしのまき市民ひろば』

その創出を目的に設置されたこの広場。短い準備期間にも関わらず、多くの団体の参加が得られたのは「街を元気付けよう！盛り上げよう！」という、NPOと行政と企業の共通の想いがあったからこそ。『いしのまき市民ひろば』は、まちづくりに対する、それぞれの熱い想いを感じさせました。



みやぎNPOプラザでは、これから各地で地域連携交流事業を開催します。各圏域のNPOや市民活動団体、ボランティアグループ、行政などが一同に会し、団体間の交流や情報交換する場を企画します。詳細は決まり次第報告いたしますのでご期待ください！



ニュースレター作成ポイント

団体の活動を知らせる媒体の一つ、ニュースレター。毎月多くのニュースレターが発行されます。そのなかで、どのようにしたら手に取ってもらえるか、読んでもらえるかが悩みのタネではないでしょうか。あるデータによると、ミセスが折り込み新聞チラシ1枚に目を通す時間は、0,3秒以下とのこと。目に入った瞬間、0,3秒で「読むか」「読まないか」を判断することになります。

今回は11月29日に開催されたマネジメント講座「編集のプロに聞く～NPOのニュースレター、情報発信のコツ～」(主催:みやぎNPOプラザ)から、ニュースレターのみならず、様々なプレスリリースの場面で使える、読み手の心をグッと惹きつける作成のポイントをご紹介します。

●タイトル・見出し…

読み手の心を惹きつけるには、タイトルが命。更にサブタイトルをつけるともっと印象に残る。

●記事構成…

時代を読み、流れにマッチして、社会的ニーズがあるものを。読んでもらいたい内容をトップページにもっていくのはもちろんのこと、複数ページに渡る時はインデックスを入れるのも見やすい。

●文字の大きさと書体を工夫する…

注目して欲しい文字を大きくメリハリをつけて。書体は、**正楷書体は和風のイメージ**を与えるなど、それぞれの書体によって文字の表情が違う。伝える内容に合った書体を使うことが、より効果的。

●写真やイラストを使用する…

文字ばかりの誌面や情報が多すぎるのは敬遠され、読者が読まない原因に。読者は「ビジュアルから判断」することをお忘れなく。写真やイラストを効果的に使いたい。写真は「柔らかい雰囲気」を出すためには角を丸く加工する、などの工夫も必要。



他の団体のニュースレターを研究するのもよいでしょう。巷にはプロが作ったフリーペーパーが出回っています。また、毎朝の新聞折込の中にも、ためになる教材が含まれています。

NPOの
組織力向上!!

NPOマネジメントセミナー開催中

NPOの活動を活発にし、地域に支えられ、また地域と協力して行っていくためにも欠かせないNPOの組織力向上を目指しましょう!

中間支援センタースタッフ研修 ボランティアコーディネーター養成講座

NPOに欠かせないボランティアを上手に団体へマッチングできるスタッフを目指します。

1/10 (木) 時間: 13:30~17:00
会場: みやぎNPOプラザ 第1会議室
講師: 小原 宗一 氏
対象: NPO支援センター職員、担当課行政職員
資料代: 無料

仙台

地域力を高めるための NPO企画マネジメント集中セミナー

課題の抽出、解決方法の企画立案、企画実現のための情報発信など一連の流れを学び、団体の活動を実現するため、地域の課題を解決するための総合講座です。

1/19 (土) 時間: 10:00~16:00
会場: 栗原文化会館 大研修室
講師: 大久保 朝江 氏

栗原

1/26 (土) 時間: 10:00~16:00
会場: 登米市迫公民館大会議室
講師: 小林 董信 氏

登米

1/27 (日) 時間: 10:00~16:00
会場: 大河原町中央公民館 第二会議室
講師: 小林 董信 氏

大河原

2/23 (土) 時間: 10:00~16:00
会場: 大崎合同庁舎
講師: 川北 秀人 氏

大崎

資料代: 1,000円 *各回共通

これだけは知っておきたい! 事業監査と会計監査のコツ

団体の活動を知ってもらい、協力者を得るためには、団体の活動をアピールできる事業報告書が必要です。情報開示を積極的に行うためにも、事業監査と会計監査のコツを学びましょう。

1/23 (水) 時間: 14:00~17:00
会場: 石巻文化センター第一研修室
講師: 脇坂 誠也 氏

石巻

1/24 (木) 時間: 14:00~17:00
会場: 大崎市市民活動サポートセンター
大会議室
講師: 脇坂 誠也 氏

大崎

資料代: 500円 *各回共通

地域の力をカタチにするセミナー ～NPOと行政との協働事例から学ぶ～

地域で活躍するNPOと行政との協働事例を活動の参考にしてみませんか?NPOの基礎知識を学び、市民を巻き込んだ事例報告からまちづくりを考えます。

2/16 (土) 時間: 13:30~16:00
会場: 白石市ふれあいプラザ
講師: 大久保 朝江 氏
事例報告: 小岩 孝子 氏/齋藤 純子 氏
資料代: 500円

白石

基礎から学ぶNPO会計セミナー ～会計処理のポイントをつかむ～

市民への情報開示、助成金の申請など団体を広くアピールする場には必ず会計が重要になっています。市民からの支援を受けるためにも、団体の会計は正確でなければなりません。NPO会計を基礎から学んでみませんか?

2/2 (土) 時間: 10:00~16:00
会場: 栗原文化会館 大研修室
講師: 瀧谷 和隆 氏

栗原

2/3 (日) 時間: 10:00~16:00
会場: 気仙沼市地域交流センター
(ワン・デンビル2階)
講師: 瀧谷 和隆 氏

気仙沼

資料代: 1,000円 *各回共通

活動を広めるための情報発信セミナー ～ミッションを市民に浸透させるコツ～

NPOは多くの市民から支えられて活動しています。では、市民から支援される組織に必要なものはなんですか?市民からの理解を得ることができる組織を計画的に育てるポイントを学びます。

2/22 (金) 時間: 18:00~20:30
会場: 石巻文化センター 第一研修室
講師: 川北 秀人 氏
資料代: 800円

石巻

主催: 宮城県
企画・実施: 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる

特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる
TEL: 022-791-9323
FAX: 022-791-9327
E-mail: npo@yururu.com

問合せ
申込

NPOマネジメント講座

実践！ ボランティアメニューを作る

- 日時：1月31日(木) 13:30~15:30
- 講師：大久保 朝江さん
NPO法人 杜の伝言板ゆるる・代表理事
- 対象：ボランティアを受け入れて活動したいと思っている団体のスタッフの方など
- 定員：20名
- 参加費：500円(資料代)

ボランティア情報サロン

ミドル&シニアのための ボランティア情報サロン

◆「ボランティアに興味はあるけど、参加するきっかけがなくて…」そんな皆さんのため、実際にボランティアをしている方の生の声や、ボランティア受け入れ団体スタッフの「ボランティアよもやま話」を聞く「ボランティア情報サロン」を開催。
ボランティア活動はやってみたい気持ちがあれば誰にでもできるもの。いろいろな情報を集めて、2008年はボランティアにチャレンジしてみませんか？

- 日時：1月20日(日) 14:00~16:00
- 会場：みやぎNPOプラザ
- 参加費：300円(お茶菓子代)

会計講座

なるほど納得！ NPOのための法人税

- 日時：2月1日(金) 13:30~16:30
- 講師：瀧谷 和隆さん(税理士)
(特活)APIジャパン理事長
(特活)NPO会計税務専門家ネットワーク理事
- 対象：NPO、市民活動団体
- 定員：15名
- 参加費：800円(資料代)

無料相談

労務相談

12月13日(木)・1月17日(木) 13:00~16:00

会計・税務相談

12月21日(金)・1月25日(金) 13:00~16:00

法人設立・運営相談

毎週水曜日 13:00~16:00

※定員：各3団体(1団体1時間程度)要予約

【共通事項】

- 会場：みやぎNPOプラザ
- 申込：要予約。所属団体名・参加者氏名・連絡先・電話番号・FAX番号・質問事項などをご記入の上、FAX・メール・電話にて。
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

●問合せ・申込●

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榎ヶ岡5
TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533
e-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp
URL:http://www.miyagi-npo.gr.jp

新規のNPO法人認証団体(平成19年10月7日~平成19年11月末日まで)

団体名	所在地	活動内容
キョーズ・コミュニケーション Sendai	仙台市太白区	子どもの活動の支援、子供の健全育成、子育て支援・教育事業、学術・文化・芸術の振興を図る事業等
みち・まち・かわ研究センター	仙台市青葉区	河川、ダム、道路、都市等の公共施設に関する広報施設の運営管理及び広報活動ならびに研究事業
Team Being	仙台市青葉区	環境問題への取組、心とからだの真の健康の提案、社会貢献できる人材の育成を目的とした研修、イベント等
season	塩竈市	介護保険法に基づく各種介護サービス事業、障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業等
とうほく食育実践協会	仙台市宮城野区	この法人は、「食育コンダクター」育成、食育活動の奨励を通して、健康な食生活の普及と次世代の健全育成に資することを目的とする。
旅の周遊友の会	仙台市泉区	この法人は、各地域の歴史や文化、風土に関する情報を収集し編集して、史跡や文化財、景勝地を訪れる内外の観光客や地域の小中学生に対してこれを提供する事業を行ない、国内の観光客や小中学生に日本文化の伝承を進め、又、海外からの観光客に日本文化を紹介することを目的とし、あわせて、観光地の振興に寄与することを目的とする。
栗原市障害者就労支援センター	栗原市	障害者自立支援法に基づく就労及び相談支援事業
宮城県河川環境研究会	仙台市泉区	この法人は、県民共有の貴重な財産である豊かな河川環境の保全に関する調査研究事業を行い、かけがえのない河川や生物たちと人間が共生できる環境を構築し、後世に引き継ぐ取組みと諸活動を通じ、地域社会に貢献することを目的とする。

みやぎNPOプラザ からのお知らせ

交流サロンが使えません。

館内エアコン改修工事に伴い、平成20年1月4日(金)から1月半ば頃までパソコンを含め、交流サロンが全面利用できません。ご了承ください。
工事の延長等もございますので、詳細はみやぎNPOプラザまでお問合せください。
尚、会議室は通常通りご利用いただけますので、皆様のご来館を心よりお待ちしております。

One to One

発行日：2007年 12月 15日
発行：宮城県民間非営利活動プラザ
編集：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榎ヶ岡5
TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533
e-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp
URL:http://www.miyagi-npo.gr.jp

2007
DECEMBER
vol.41

「One to One」は、県内各地でのさまざまなNPO活動により、ひととひととが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるようお願いを込めたニュースレターです。